AKATUKI

NEWS PAPER

社会福祉法人　あかつきコロニー

2014.8.1　No.67

スポット

- 平成26年度事業計画
- 平成25年度事業報告
- 研修報告
- さくら近況報告・春季レク
- BCPマニュアル作成
- 新人紹介

あかつき

八重の藤

第67号　2014年8月1日発行
発行／編集　社会福祉法人 あかつきコロニー
〒208−0023　東京都武蔵村山市伊奈平 1−64−1
☎ 042−560−7840
http://www.akatuki.or.jp　　Email:soumu@akatuki.or.jp

平成26年度事業計画

●福祉事業活動

障害者総合支援法も二年目に入り、グループホーム・ケアホームの一元化や重度訪問介護の対象障害拡大等、今年4月から実施され、障害程度区分も4月から障害支援区分へと変更となる。障害支援区分は知的障害者や精神障害者の障害程度区分判定が軽めに出てしまう従来の欠陥を是正するもので、障害福祉サービスを受ける障害者にとって朗報といえる。

就労移行支援・就労継続支援B型スペース・まどかにおいて、前年度末で就労移行支援の利用者がいなくなった。そのため今年4月1日付で就労移行支援を廃止し、就労継続支援B型の単独施設に変更する。定員は30名とし対象障害者は精神障害者とする。

精神障害者の就労移行支援は現在身体・知的障害者の就労移行支援を行っているセルプあかつきで今後担っていくこととし、4月以降3障害と難病者対象の施設とする。

福祉事業活動はそれぞれの施設において経営の安定化を目指す取り組みが急務となっている。

就労移行支援セルプあかつきは利用者の現員数が少なく4月時点で7名からのスタートとなる。定員20名に対して大きく定員割れ状態であり現員数を上げていく必要がある。待つだけの姿勢ではなく、積極的な自己発信を地域に向けて行っていく必要がある。

就労継続支援A型あかつき作業所は印刷事業・給食事業等の就労支援事業の収支改善が大きな課題である。あかつき作業所は利用者と雇用契約を結ぶ施設で、最低賃金以上の賃金を払っていく必要があるが、それを支えていく就労支援事業が不調の状態にあり、施設経営にも影響を与えている状況である。A型単独では厳しい状況にも来ており施設体系の変更も視野に入れて検討していく。

就労継続支援スペース・まどかは精神障害者の障害特性上利用率が低い状況がある。4月時点の登録者数は定員30名に対して33名いるが、実質一日の平均利用率は20名前後の状況である。スペース・まどかも現員数を上げて一日平均利用者数を30名近い数字に持っていくことが急務となっている。

昨年度はセルプあかつきとスペース・まどかで第三者評価を実施したが、今年度は就労継続支援B型であるあかつき授産所と瑞穂町福祉作業所さくらで実施する。

社会福祉法人新会計への移行を4月から実施する。

●就労支援事業活動

就労支援事業は今年度も非常に厳しい状況が続くことが予想される。アベノミクスと呼ばれる経済政策のもと輸出業を中心とした業界の業績は上がっているということだが、当法人の事業に反映するまでに至っていない。また消費税のアップも懸念される。

印刷事業は業績の下落傾向が毎年続き収支バランスが取れない状況が続いており、歯止めをかけることが絶対条件である。その様な状況の中、前年度下半期に受注促進・工賃向上設備整備費補助事業補助金を受けシルバーデジプレート（SDP）を導入できた。SDPの導入により刷版作業において工程の短縮と消耗品の削減を図ることができ、なおかつカラー印刷において新規顧客の開拓にも繋がることが期待できる。

オイルエレメント事業は下請けのため受注先の動向に左右されるが、納期や品質管理に注意をはらい継続して受注が続くよう取り組んでいく。ウエス事業も収益が伸び悩んでいるところだが統括営業部と協力して新規開拓と作業の効率化をはかることで収益を出せるように努力していく。

まどか作業部門においては精神障害者を中心に封入作業やメール便の配達等多岐にわたって事業を行っているが、赤字体質は改善されていない。革細工作業も昨年度から実施しているが収益をあげるまでには至っておらず、今年度は軌道に載せることに重点を置き赤字体質からの脱却を図っていく。

その他武蔵村山市との委託契約による紙おむつ給付事業や瑞穂町福祉作業所における箱折りを中心とした軽作業等行っているが、少しでも高い工賃を支払っていくことを目標に取り組んでいく。

●地域福祉

今年度も引き続き武蔵村山市障害者就労支援センターとらい、瑞穂町障害者就労支援センターをそれぞれの自治体と受託契約を結び実施していく。

障害者の一般就労支援が進む中、二つの障害者就労支援センターの役割は非常に大きく、それぞれの地域において大きな成果を出している。障害者の就職者数を上げていくことと同時に、仕事を継続していくための定着支援、生活支援にも力を入れて、障害者が安定して働いていけるよう努力していく。

また昨年4月に開設した特定相談支援事業あかつきコロニー相談支援センターは2年目に入るが、まだ地域にはサービス等利用計画が未作成の障害者も多く、3人の相談員は兼務という形だか継続して取り組んでいく。

武蔵村山市障害支援区分審査会への委員派遣、武蔵村山市自立支援協議会委員の派遣を継続するとともに、自立支援協議会傘下の各事業者部会と就労プロジェクトへも積極的に関わっていく。また市内の福祉作業所や関係団体と連携をはかりネットワーク化を推進し、地域の一層の就労支援の向上を図っていく。

AKATUKI

平成 26 年度収支予算内訳表

社会福祉法人あかつきコロニー法人事業区分

（単位：千円）

勘定科目			法人合計	社会福祉事業合計	本部	就労移行支援セルプあかつき	就労継続支援Ａ型あかつき作業所	就労継続支援Ｂ型あかつき授産所	就労継続支援Ｂ型スペース・まどか	就労継続支援Ｂ型瑞穂町福祉作業所	あかつきコロニー相談支援センター	公益事業合計	武蔵村山市障害者就労支援センターとらい	瑞穂町障害者就労支援センター
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	151,450	151,450	0	18,000	88,100	30,910	9,040	5,400	0	0	0	0
		印刷事業収入	87,500	87,500	0	0	81,500	6,000	0	0	0	0	0	0
		第一課事業収入	15,500	15,500	0	0	0	11,500	4,000	0	0	0	0	0
		第二課事業収入	12,340	12,340	0	0	0	12,340	0	0	0	0	0	0
		第三課事業収入	1,070	1,070	0	0	0	1,070	0	0	0	0	0	0
		まどか事業収入	5,040	5,040	0	0	0	0	5,040	0	0	0	0	0
		給食事業収入	6,600	6,600	0	0	6,600	0	0	0	0	0	0	0
		就労訓練部収入	18,000	18,000	0	18,000	0	0	0	0	0	0	0	0
		さくら事業収入	5,400	5,400	0	0	0	0	0	5,400	0	0	0	0
		障害福祉サービス等事業収入	213,431	213,431	0	27,370	11,988	79,415	44,101	49,597	960	0	0	0
		自立支援給付費収入	179,176	179,176	0	23,400	10,450	68,500	34,990	40,876	960	0	0	0
		利用者負担金収入	3,171	3,171	0	570	110	1,660	831	0	0	0	0	0
		その他の事業収入	31,084	31,084	0	3,400	1,428	9,255	8,280	8,721	0	0	0	0
		生活保護事業収入	390	390	0	100	0	290	0	0	0	0	0	0
		その他事業収入	32,565	500	0	0	500	0	0	0	0	32,065	18,340	13,725
		補助金事業収入	500	500	0	0	500	0	0	0	0	0	0	0
		受託事業収入	32,065	0	0	0	0	0	0	0	0	32,065	18,340	13,725
		借入金利息補助金収入	139	139	139	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		経常経費寄附金収入	370	370	300	10	0	50	0	10	0	0	0	0
		受取利息配当金収入	7	7	1	2	1	1	1	1	0	0	0	0
		その他の収入	1,476	1,476	721	415	10	40	280	10	0	0	0	0
		利用者等外給食費収入	650	650	0	400	0	0	250	0	0	0	0	0
		雑収入	826	826	721	15	10	40	30	10	0	0	0	0
		事業活動収入計（1）	399,828	367,763	1,161	45,897	100,599	110,706	53,422	55,018	960	32,065	18,340	13,725
	支出	人件費支出	195,451	168,056	1,312	22,250	12,620	61,290	33,300	36,774	510	27,395	15,945	11,450
		事業費支出	19,162	19,162	0	2,630	1,224	7,190	3,278	4,840	0	0	0	0
		事務費支出	29,002	24,332	570	2,417	1,055	7,316	5,720	6,804	450	4,670	2,395	2,275
		就労支援事業支出	151,450	151,450	0	18,000	88,100	30,910	9,040	5,400	0	0	0	0
		就労支援事業販売原価支出	135,310	135,310	0	18,000	72,460	30,410	9,040	5,400	0	0	0	0
		就労支援事業販管費支出	16,140	16,140	0	0	15,640	500	0	0	0	0	0	0
		支払利息支出	157	157	157	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他の支出	484	484	0	300	0	0	184	0	0	0	0	0
		事業活動支出計（2）	395,706	363,641	2,039	45,597	102,999	106,706	51,522	53,818	960	32,065	18,340	13,725
	事業活動資金収支差額（3）＝（1）－（2）		4,122	4,122	△ 878	300	△ 2,400	4,000	1,900	1,200	0	0	0	0
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		設備資金借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他の施設整備等による収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		施設整備等収入計（4）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出	設備資金借入金元金償還支出	4,122	4,122	4,122	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		施設整備等支出計（5）	4,122	4,122	4,122	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設整備等資金収支差額（6）＝（4）－（5）		△ 4,122	△ 4,122	△ 4,122	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		事業区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		拠点区分間繰入金収入	7,400	7,400	5,000	0	2,400	0	0	0	0	0	0	0
		その他の活動による収入計（7）	7,400	7,400	5,000	0	2,400	0	0	0	0	0	0	0
	支出	積立資産支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		拠点区分間繰入金支出	7,400	7,400	0	300	0	4,000	1,900	1,200	0	0	0	0
		その他の活動による支出計（8）	7,400	7,400	0	300	0	4,000	1,900	1,200	0	0	0	0
	その他の活動資金収支差額（9）＝（7）－（8）		0	0	5,000	△ 300	2,400	△ 4,000	△ 1,900	△ 1,200	0	0	0	0
予備費支出（10）			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計（11）=（3）＋（6）＋（9）－（10）			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

前期末支払資金残高（12）												
当期末支払資金残高（11）＋（12）		0	0	0	0	0	0	0		0	0

平成25年度事業報告

●概要

平成25年度は障害者福祉政策において大きな動きが続いた年度だった。昨年4月には障害者自立支援法から障害者総合支援法へと制度が変わり、難病者の一部が障害者総合支援法の対象となったことや、グループホームとケアホームの一元化（平成26年4月施行）、重度訪問看護の対象障害の範囲拡大（平成26年4月施行）等の変更が行われた。また障害者の法定雇用率が1．8％から2％に引き上げられた。6月には障害者差別解消法（平成28年4月施行）と精神障害者の雇用義務化（平成30年4月施行）の法案が成立、そして12月4日には国連障害者権利条約の批准が国会で正式に承認され、今年1月20日付で国連に寄託、条約の規定に従い寄託日から30日目の日である2月19日に日本について効力を生ずることとなった。

以上様々な改変が行われ問題点も多々あるが、障害者の権利の向上は確実に進んでおり、地域社会においても障害者の社会参加は益々進んでいくことになり、この様な流れの中、私たち障害者福祉に関わる者の役割として一般就労の支援を進めていくこと、地域社会で暮らしていくための支援、企業に就職が難しい方の働く場の提供等、さらに推し進めていかなければならない課題といえる。

●福祉事業活動

福祉事業活動は9割保障補助が平成24年度で終了となり、平成25年度は利用率がそのまま収入に反映せれた結果、就労移行支援セルプあかつきと精神障害者単独施設であるスペース・まどかにおいて収入が下がり厳しい結果となった。セルプあかつきは一般就職者や就労継続支援B型への移行で数名が退所したが、新規利用者が1名にとどまり収入が落ち込む結果となり、スペース・まどかは精神障害者の障害特性で休みが日常的に多かったことによる。

またあかつき作業所では就労支援事業の不調から利用者を抱えられなくなり、一般雇用等への移行を行ったが結果現員数が下がり収入が大幅に減った。

一方瑞穂町福祉作業所さくらは地域区分が1．5％上がったこともあり収支差額は770万円となった。

法人全体では△636万円で非常に厳しい結果となった。

就職者数は就労移行支援セルプあかつきにおいて5名、スペース・まどかにおいて1名、就労継続支援A型かつき作業所から2名出すことができた。

第三者評価はセルプあかつきとスペース・まどかにおいて実施した。

平成25年度社会福祉施設等耐震化促進事業（耐震改修経費）補助金を受け、本館（昭和52年建設）と作業棟（昭和49年建設）の耐震改修工事を実施した。一昨年耐震診断を行い耐震性に疑問ありという結果を受けたもので、12月10日に3社による一般競争入札を実施、落札者の㈱松村組と12月20日に契約、約3ヶ月の工事を経て3月25日に終了した。工事費総額35，296，500円（工事費33，075，000円、工事事務費2，194，500円）、東京都補助金27，078，000円、福祉医療機構借入金7，300，000円、自己資金891，000円だった。

平成25年度受注促進・工賃向上設備整備費補助事業補助金を就労継続支援B型あかつき授産所にて申請し、印刷機器整備事業としてシルバーデジプレート（SDP）を購入した。1月21日に3社による一般競争入札を実施、落札者のエフ・ビー・エム㈱と2月3日に契約し、2月13日に納入された。整備費総額が4，851，000円、東京都補助金が3，638，000円、自己資金1，213，000円だった。

●就労支援事業活動

就労継続支援A型の事業である印刷事業と給食事業は共に200万円を超える赤字を計上し、雇用利用者を減らさざるを得ない状況となり、現員数が下がりあかつき作業所の福祉事業活動収支にも影響を出した。

オイルエレメント事業は収入が150万円減少したことと、今年2月に製品の不良を出してしまい、数十万の損害を出してしまったことが赤字の要因となり、ウエス事業は売上の上積みはあったものの、材料費の高騰と利用者数が増えたことによる工賃支出の増加で赤字となってしまった。

平均工賃は就労継続支援B型では、あかつき授産所二五五〇四円、スペース・まどか一一七〇〇円、瑞穂町福祉作業所さくら一五二〇〇円、就労継続支援A型あかつき作業所では一四四〇〇〇円という結果だった。

●地域福祉

武蔵村山市障害者就労支援センターとらいは平成26年3月末現在登録者数が165名となり、就職者を30名出すことができた。とらいにおいては4月から地域開拓促進コーディネーターを配置し、登録者の就職先を開拓するための体制を整えた。その結

果平成24年度は3社だった企業の開拓数が、今年度においては10社と増加し、大きな成果を上げることができた。

瑞穂町障害者就労支援センターは開設2年4ヵ月が経過し、センター業務も軌道に乗り、瑞穂町内の認知度も上がってきた。登録者については3月末現在登録者79名となり、就職者を15名出すことができ、年々成果が上がっている。

昨年4月1日に開設した特定相談支援事業あかつきコロニー相談支援センターは、開設当初相談専門員1名でスタートし、上半期で3名（兼務）まで増やした。主にサービス等利用計画の作成を行い、計画相談21件、継続支援6件を作成した。

前年度に引き続き、武蔵村山市障害程度区分審査会へ職員を派遣、武蔵村山市自立支援協議会とそれに付随するプロジェクト委員会や専門部会への職員派遣を行い地域福祉向上への取り組みに協力した。また市内福祉事業所と連携をとり、障害者の就労支援の向上を目指したネットワーク作りを推進した。

貸借対照表（平成26年3月31日現在）

（単位：円）

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	159,173,360	127,762,397	31,410,963	流動負債	56,663,501	24,027,261	32,636,240
現金	569,604	380,585	189,019	未払金	69,895,193	33,139,222	36,755,971
普通預金	67,293,429	64,016,279	3,277,150	預り金	297,045	123,218	173,827
当座預金	294,786	294,786	0	仮受金	29,799	3,724,723	△ 3,694,924
定期預金	11,355,552	11,344,351	11,201	あかつき作業所勘定（流動負債）	△ 10,454,000	△ 10,057,957	△ 396,043
郵便貯金	750,565	750,294	271	あかつき授産所勘定（流動負債）	△ 3,104,536	△ 2,901,945	△ 202,591
受取手形	347,000	918,975	△ 571,975	固定負債	15,900,000	12,550,000	3,350,000
売掛金	15,700,980	16,524,837	△ 823,857	設備資金借入金	15,900,000	12,550,000	3,350,000
商品・製品	1,651,520	1,999,752	△ 348,232	**負債の部合計**	**72,563,501**	**36,577,261**	**35,986,240**
原材料	1,920,630	2,578,845	△ 658,215				
未収金	71,714,055	40,322,838	31,391,217	**純資産の部**			
立替金	1,133,775	1,590,757	△ 456,982	基本金	156,178,608	156,178,608	0
事業所勘定（流動）	△ 13,558,536	△ 12,959,902	△ 598,634	基本金	156,178,608	156,178,608	0
固定資産	296,315,295	274,900,171	21,415,124	国庫補助金等特別積立金	144,080,197	120,879,901	23,200,296
基本財産	196,974,777	205,137,752	△ 8,162,975	国庫補助金等特別積立金	144,080,197	120,879,901	23,200,296
建物	103,753,915	111,916,890	△ 8,162,975	その他の積立金	32,004,899	34,640,505	△ 2,635,606
土地	92,920,862	92,920,862	0	備品購入積立金	5,852,667	5,852,667	0
基本財産特定預金	300,000	300,000	0	修繕積立金	16,814,326	17,228,988	△ 414,662
その他の固定資産	99,340,518	69,762,419	29,578,099	人件費積立金	6,922,644	7,722,644	△ 800,000
建物	35,210,718	0	35,210,718	基本特定積立金	300,000	300,000	0
構築物	270,000	405,000	△ 135,000	移行時特別積立金	2,115,262	3,536,206	△ 1,420,944
機械及び装置	22,541,037	23,496,892	△ 955,855	次期繰越活動収支差額	50,661,450	54,386,293	△ 3,724,843
車両運搬具	1,790,249	3,017,189	△ 1,226,940	次期繰越活動収支差額	50,661,450	54,386,293	△ 3,724,843
器具及び備品	7,645,901	8,325,119	△ 679,218	（うち当期活動収支差額）	△ 6,360,449	6,544,523	△ 12,904,972
権利	177,714	177,714	0				
備品購入積立預金	5,852,667	5,852,667	0				
修繕積立預金	16,814,326	17,228,988	△ 414,662				
人件費積立預金	6,922,644	7,722,644	△ 800,000				
移行時特別積立預金	2,115,262	3,536,206	△ 1,420,944	**純資産の部合計**	**382,925,154**	**366,085,307**	**16,839,847**
資産の部合計	**455,488,655**	**402,662,568**	**52,826,087**	**負債及び純資産の部合計**	**455,488,655**	**402,662,568**	**52,826,087**

事業活動収支内訳表（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（単位：円）

勘定科目			合計	法人本部	セルプあかつき	あかつき作業所	あかつき授産所	スペース・まどか	瑞穂町福祉作業所	武蔵村山市障害者就労支援センター	瑞穂町障害者就労支援センター	あかつきコロニー相談支援センター
就労支援事業活動収支の部	収入	就労支援事業収入	141,740,855	0	19,083,549	81,259,568	29,042,495	7,257,812	5,097,431	0	0	0
		就労支援事業活動収入計(1)	141,740,855	0	19,083,549	81,259,568	29,042,495	7,257,812	5,097,431	0	0	0
	支出	就労支援事業販売原価	132,772,083	0	19,350,052	70,851,880	30,182,287	7,280,388	5,107,476	0	0	0
		販売費及び一般管理費	15,213,978	0	0	14,676,801	537,177	0	0	0	0	0
		徴収不能額	957,514	0	0	957,514	0	0	0	0	0	0
		就労支援事業活動支出計(2)	148,943,575	0	19,350,052	86,486,195	30,719,464	7,280,388	5,107,476	0	0	0
	就労支援事業活動収支差額(3)=(1)－(2)		△ 7,202,720	0	△ 266,503	△ 5,226,627	△ 1,676,969	△ 22,576	△ 10,045	0	0	0
福祉事業活動収支の部	収入	措置費収入	496,140	0	203,690	0	292,450	0	0	0	0	0
		管理費収入	40,031,000	0	0	0	0	0	8,121,000	18,185,000	13,725,000	0
		自立支援費収入	179,849,584	0	24,719,980	14,022,512	66,429,342	33,302,438	40,953,860	0	0	421,452
		利用者負担金収入	3,607,876	0	554,300	348,910	1,831,599	845,167	27,900	0	0	0
		経常経費補助金収入	23,600,487	0	3,970,000	3,444,487	8,595,000	7,591,000	0	0	0	0
		寄附金収入	296,087	296,087	0	0	0	0	0	0	0	0
		雑収入	794,725	745,975	15,000	0	33,750	0	0	0	0	0
		国庫補助金等特別積立金取崩額	7,515,704	5,062,472	296,407	488,200	1,348,970	319,655	0	0	0	0
		福祉事業活動収入計(4)	256,191,603	6,104,534	29,759,377	18,304,109	78,531,111	42,058,260	49,102,760	18,185,000	13,725,000	421,452
	支出	人件費支出	197,897,403	1,312,000	27,659,605	16,240,223	59,386,248	33,260,951	32,527,741	15,599,724	11,910,911	0
		事務費支出	27,981,606	523,828	3,289,774	2,342,049	7,612,147	3,773,819	6,085,454	2,461,393	1,817,282	75,860
		事業費支出	15,346,375	0	2,596,355	1,307,617	6,492,379	3,396,759	1,553,265	0	0	0
		減価償却費	13,838,876	2,463,396	1,804,198	46,179	8,953,378	571,725	0	0	0	0
		福祉事業活動支出計(5)	255,064,260	4,299,224	35,349,932	19,936,068	82,444,152	41,003,254	40,166,460	18,061,117	13,728,193	75,860
	福祉事業活動収支差額(6)=(4)－(5)		1,127,343	1,805,310	△ 5,590,555	△ 1,631,959	△ 3,913,041	1,055,006	8,936,300	123,883	△ 3,193	345,592
事業活動外収支の部	収入	借入金利息補助金収入	81,600	81,600	0	0	0	0	0	0	0	0
		受取利息配当金収入	23,064	372	3,183	1,716	14,952	412	1,476	441	505	7
		経理区分間繰入金収入	10,149,579	4,450,000	1,231,698	46,179	4,421,702	0	0	0	0	0
		事業活動外収入計(7)	10,254,243	4,531,972	1,234,881	47,895	4,436,654	412	1,476	441	505	7
	支出	借入金利息支出	81,600	81,600	0	0	0	0	0	0	0	0
		経理区分間繰入金支出	10,149,579	5,699,579	0	0	2,000,000	1,250,000	1,200,000	0	0	0
		事業活動外支出計(8)	10,231,179	5,781,179	0	0	2,000,000	1,250,000	1,200,000	0	0	0
	事業活動外収支差額(9)=(7)－(8)		23,064	△ 1,249,207	1,234,881	47,895	2,436,654	△ 1,249,588	△ 1,198,524	441	505	7
経常収支差額(10)=(3)+(6)+(9)			△ 6,052,313	556,103	△ 4,622,177	△ 6,810,691	△ 3,153,356	△ 217,158	7,727,731	124,324	△ 2,688	345,599
特別収支の部	収入	施設整備等補助金収入	30,716,000	0	0	0	30,716,000	0	0	0	0	0
		特別収入計(11)	30,716,000	0	0	0	30,716,000	0	0	0	0	0
	支出	国庫補助金等特別積立金積立額	30,716,000	0	0	0	30,716,000	0	0	0	0	0
		固定資産売却損・処分損(売却原価)	308,136	0	0	308,136	0	0	0	0	0	0
		特別支出計(12)	31,024,136	0	0	308,136	30,716,000	0	0	0	0	0
	特別収支差額(13)=(11)－(12)		△ 308,136	0	0	△ 308,136	0	0	0	0	0	0
当期活動収支差額（14）＝（10）＋（13）			△ 6,360,449	556,103	△ 4,622,177	△ 7,118,827	△ 3,153,356	△ 217,158	7,727,731	124,324	△ 2,688	345,599
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額(15)		54,386,293	△ 39,197,010	22,725,320	6,254,999	50,798,296	6,428,269	7,373,376	273	2,770	0
	当期末繰越活動収支差額(16)=(14)+(15)		48,025,844	△ 38,640,907	18,103,143	△ 863,828	47,644,940	6,211,111	15,101,107	124,597	82	345,599
	基本金取崩額(17)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	基本金組入額(18)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額(19)		2,635,606	0	800,000	414,662	1,420,944	0	0	0	0	0
	その他の積立金積立額(20)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	次期繰越活動収支差額(21)=(16)+(17)－(18)+(19)－(20)		50,661,450	△ 38,640,907	18,903,143	△ 449,166	49,065,884	6,211,111	15,101,107	124,597	82	345,599

研修報告

スペース・まどか
施設長　遠藤　至子

STOP病棟転換型居住系施設!!
6・26緊急集会に参加しました。

さる6月26日、日比谷野外音楽堂にて行われた病棟転換型居住系施設に反対する集会に参加しました。

現在、精神科病院に入院している患者数は32万人います。そのうち1年以上の長期入院患者は20万人、長期入院患者の中でも、入院の必要はないのに退院後の受け入れ先がない、いわゆる社会的入院を余儀なくされている方が7万人とも言われています。

国は10年前から、入院から地域移行へ、精神障害者の地域移行を推し進めてきましたが遅々として進んでいません。

この様な中で厚労省の「長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策に係る検討会」の中で持ち上がったのが、〝病棟転換居住施設〟です。簡単に言うと、病院の入院患者が減り、空いた入院病棟を居住施設にする、というものです。

病院の敷地内に居住施設を作り、そこで生活する事が果たして地域生活と言えるのか、今年日本が批准した障害者権利条約に反するのではないか、そういった点からも病棟転換型居住施設については多くの疑問があります。今回の緊急集会には、これに反対し、障害の種別を問わず日本中から実に3，200人以上の方々が参加しました。「病院は生活の場ではない」という切実な訴え、集会には実際に長期入院の末に地域生活を送っている方々の生の声も聞かれました。

精神障害者の退院促進がなかなか進まない要因として地域の受け皿の問題もあると思います。しかし、それを空き病棟で補おうという発想は間違っています。これを認めてしまうと、増々地域に戻るための支援体制（ハード、ソフト面共）を遅らせ、結局、彼等を病院内に留めてしまう事になり兼ねないのではないでしょうか。退院可能な精神障害者の受け皿を病院内に求めるのではなく、地域社会の支援体制の拡充が先決だと思います。

集会は参加者全員によるシュプレヒコールで幕を閉じましたが、結局、「長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策に係る検討会」は7月1日の会合で、地域移行を原則として、現在入院している患者を対象として病棟転換を試行的に実施し、運用状況を検証するという結論となりました。

この検討会では25名の委員中、当事者が2名、過半数は医師だったとの事です。既述したように、このような構成員で示された結論が果たして障害者権利条約に合致しているのか私には非常に疑問です。

あかつき授産所保護者会の開催

あかつき授産所
サービス管理責任者　小室　貴士

去る6月23日にあかつき授産所の保護者会を開催し、13組のご家族にご参加いただきました。保護者会を始まる前には希望のあった保護者の方々に対して作業場を見学してもらいました。また保護者会自体はこちらから一方的に報告を行うのではなく、参加者からも意見をもらえるように席を顔と顔が見えるような形にしました。

この誌面を使い当日ご参加できなかったご家族もいらっしゃるので、内容の報告をいたします。

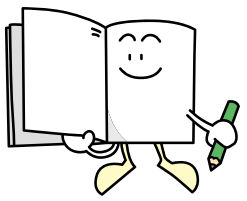
まずは最近の福祉制度の動向について、平成25年4月より障害者総合支援法が施行されその後の制度の流れや権利条約についての説明、今年4月より障害程度区分から障害者支援区分に変わり調査項目が変わったことや、知的障害の方や精神障害の方の判定の結果が実態に反映されやすくなっていることなど説明しました。

事業報告としては耐震改修工事の完了と建物の耐震性の向上についての説明、平均工賃、今年度あかつき授産所で第三者評価を実施する旨の報告をしました。

次にあかつきコロニーで作成したBCP（事業継続計画）マニュアルについて説明を行いました。震災発生時から三日間の対応手順、備蓄や設備の説明、ご家族との連絡手段については災害用伝言ダイヤルの利用やあかつきホームページのフェイスブックでの情報発信、所内公衆電話での連絡等、意見交換を行いました。また個別対応の必要性から災害時に必要となる利用者台帳の協力もお願いしました。

その他あかつきコロニーで実施する行事に保護者の方々への参加について意見交換を行い、今年度は参加してもらう行事を限定せず、希望があれば自由に参加をしていただくこととしました。

利用者を支援していく中で、日中だけでなく家庭での様子など、保護者の方との連携が大事だと思います。今後も連絡帳や電話で連絡を取っていき、ご家庭で困っている事はなど共有していきたいと思います。今回は忙しい中、多数のご家族に参加していただき有難うございました。



瑞穂町福祉作業所 さくら近況報告

サービス管理責任者　大滝　実

皆様、こんにちは！

7月に入り、日差しが眩しい季節になり気温も徐々に上がり過しやすい季節になってきました。その反面、季節の変わり目は疲れも出やすく体調を崩しやすいので皆、気を引き締めて日々の作業に打ち込んでいます。

新規作業として瑞穂町より、さくらの隣にある町民農園トイレ清掃の業務委託を受け、5月から実施しております。週に1回のペースで利用者、職員でペアを組み行っていますが初めての作業の為、悪戦苦闘するかと思いきや、日々の作業場の清掃で慣れており、ホースやブラシを自由自在に操りながら、とても上手に行っております。また、自分は都内で育ち公衆トイレは「汚い」イメージが強く残っていましたが公共トイレなのにとても綺麗に使われており、町民にとても感心しました。

自主製品も今までは町の催物や施設での販売でしたが、町役場の近くの「シルバー人材センターシルバーまちかど」に置いて頂ける事になり、大変喜んでおります。納品も利用者と共に伺い、製品（廃油再生石鹸、お掃除棒、手作りタワシ）すべてに値札を付け、綺麗に見える様にレイアウトをして置かせて頂いております。その様子を見ていた買い物客の方と雑談をしながら、お茶を頂き、製品説明をする利用者の姿を見て「立派な営業マン」と、感動すると共にこれからも町に根ざした施設でありたいと強く思いました。シルバーの方々には貴重な体験をさせて頂き大変感謝しております。

施設行事では「春レク」があり今年はイオンモール日の出に行きました。昨年に引き続きショッピングモールとなりましたが場所が違うとここまで違うのかと驚くほど別の建物でした。映画鑑賞グループ、買物グループと分かれて行動しました。自分は買物グループに入り、散策しましたが100店舗以上あり、普段、買物慣れしていない為か、見て回るだけでも疲れてしまいましたが、皆様は目をキラキラさせながらお目当ての物を物色している姿はとても微笑ましかったです。また、プリクラをしましたが、沢山の機能を駆使してみんなでワイワイ、言いながら楽しい時間を過ごしました。

「ふれあい運動会」では6月とは思えない暑さで熱中症に気を付けながらの参加でした。さくらの全員が熱狂する全員リレーでは大声を上げ、声援を送り、心身共に充実した時間を過ごしました。

これからも利用者、職員とも地域に根ざして元気いっぱい、頑張ります。

サイボク

印刷部　加藤　仁

5月18日、今年も春のレクリエーションが行われました。場所は昨年とおなじ、埼玉県日高市のサイボクハムです。

あかつきの年中行事の中でも、この春レクが年度はじめの最初のお楽しみ、みんなのテンションも最高潮、今日の日を楽しみにしていたみんなの熱気で、雨雲は近寄ることができず、最高の行楽日和です。

食事は焼肉・焼きそば。品質第一で作られたお肉は最高の味、おなかいっぱいになるまで箸が止まりませんでした。

焼きそばは誰が作ったの？ほとんどのテーブルでは利用者さんが作ってくれます。作り方の説明なんかはいりません。食材のバランス、焼き加減、具材の混ぜ方もみんな上手です。おいしい物を食べてもらいたい。その気持ちが最高の調味料なんですね。おなかいっぱいなのも忘れてあと一口、あと一口と、気がついたら食べ過ぎてしまいました。

おなかがいっぱいになったらお買い物。野菜やお肉の他にもおいしいハムやソーセージ、焼きたてパンや地元で作られた製品など、たくさん売っています。

さらに今年は大道芸の人がいてみんな大喜び。ジャグリングや楽しいトークで時間を忘れ、いつの間にか帰りの時間となってしまいました。

帰りのバスは疲れて眠る人、まだまだ元気いっぱいの人、それぞれでしたが、みんな楽しい一日を過ごせたようです。心も体もリフレッシュして、仕事をがんばる活力にもなったことでしょう。

法人のBCP（事業継続計画）マニュアルを作成しました

防火管理責任者　遠藤　至子

BCPとは、自然災害や大火災、大事故等の危機事案に備え、被害を最小限に抑え、事業の継続若しくは早期の復旧を目指すために平常に行うべき活動や緊急時における事業継続の為の方法、手段等を取り決めておく計画の事です。

災害時の非常事態の中で事業を継続していく事は非常に困難です。この様な中、どのように事業を継続していくか事前に検討、準備して行く事が重要と考え、今回当法人では、大地震を想定したBCPマニュアルを策定致しました。

昨年度は耐震改修工事を行う等、当法人としても大地震に対する危機管理対策を進めているところではありますが必ずしも充分とは言えません。BCP作成に当たって初めて確認出来たことや課題も見えてきました。

例えば備蓄に関しては一般的には3日分と言われていますが現段階では充分ではありません。今後少しずつ備蓄を増やしていく予定です。また、法人内の設備なども改めて確認してみると、どこにどんな設備があるのか知らなかった、操作方法がよくわからない、止まったらどうしたら良いのかわからない等、把握出来ていない事もあり、緊急時にどのように対応したら良いのか知る必要がある、といった事が改めて確認されました。検討を重ね、様々な意見もありましたが、理想ばかりが先行しない様、不充分な部分も認識したうえで、現状で対応し得る最善の方法を目指して作成しました。

BCPマニュアル作成を通して、危機管理に対しての職員個々の意識も更に高まったと感じます。

今回はBCPの内容からご利用者、ご家族の皆様にご協力、ご理解頂きたい事を紙面を借りて以下に記します。

①自宅にいる際に大地震が発生した際は、震度5強の地震が発生した際は連絡が有るまで自宅で待機をお願いします。通所時間外に（通所前日の夜、若しくは通所日の朝、または土日等でお休みの日でも）震度5強以上の地震が発生したときは、当日若しくは翌日以降の通所に関しては法人より連絡があるまでは自宅にて待機をお願い致します。

②日中の活動中に大地震が発生した際は利用者の皆様には、事業所内にて待機して頂きます。

③当法人の送迎を利用している方については、送迎の途中に地震が発生した際は、ご家族同居の方についてはご家族の元へ送ります。独居の方で自宅に戻れない、戻りたくない方についてはあかつきコロニーへ行き待機して頂きます。

④事業所にて待機している方はご家族のお迎えがあるまではそのまま待機して頂きます。ご家族と連絡が取れない場合は御本人の希望の有無に関わらず事業所にて宿泊して頂く事もあります。

⑤災害時に皆様が一番心配されるのが、連絡体制だと思います。日中通所している時に災害が発生した時に、ご家族にとっては、連絡が取BCPマニュアルにて確認して頂きたいと思います。

本来の事業継続という観点から、利用者の皆さんに提供しているサービス、つまり作業についてどう継続させていくのか、というところまで計画には含まれるべきものですが、今回はあくまでも緊急時に於ける事業継続計画として災害発生から3日間の初動対応について策定しています。今回皆様にお知らせした内容で完成というものではありません。今後も内容の検討を重ね、追加、変更、更新を行い、よりスムーズに対応出来るような形にしていたいと考えています。

新人紹介

みなさん
よろしくお願い
しま～す！！

■6月より印刷部に入所した阿美です。好きな食べ物はイチゴです。好きな動物は、ネコとペンギンとカピパラさんです。趣味は絵を描くことアニメを見ることです。一生懸命仕事を頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

印刷部
阿美　美貴 さん

■はじめまして、4月よりセルプあかつきでお世話になっています。髙野漱太です。自分に合った場所を見つけていきたいです。どうぞよろしくお願いします。

セルプあかつき
髙野　漱太 さん

主な事柄

1月
6 新年会
8 第三者評価利用者調査（セルプ・まどか10日）
20 イオンモール展示即売会
21 印刷機器整備入札実施
23 床清掃
30 理事会

2月
12 第三者評価訪問調査（セルプ）
13 SDP搬入
多摩地区障害者合同就職面接会
14 第三者評価訪問調査（まどか）
24 エレベータ点検

3月
8 のぞみ祭り参加
14 第三者評価フィードバック（セルプ・まどか）
18 印刷機器整備東京都検査
26 理事会・評議員会

4月
11 耐震改修工事東京都検査
17 消防設備点検（界面）
22 地震避難訓練
24 床清掃

5月
8・9 セキュリティ工事
17 春季レク（サイボク）
20 空調切替
24 電気点検
28 理事会・評議員会
エレベータ点検

6月
10 職員集会
13 ㈱マーレフィルターシステムズ来所
14 空調洗浄工事
16 全体報告集会
17 NTT工事
エアコン工事
23 保護者会（授産所）
24 火災避難訓練
27 ㈱マーレフィルターシステムズ来所

出張・研修

1月
9 市長挨拶
東京都サービス管理責任者研修（西出10日迄）
10 業務連絡会（遠藤・冨田）
22 日中活動部会（永井）
羽村特別支援学校40周年記念式典（熊谷）
23 相談支援研修（小室・五十嵐・小室）
ゼンコロ就労移行研修（高橋・西出・岡部24日迄）
24 精神保健福祉 対人援助基礎研修（米倉）
27 就労ネット（高橋・利根川）
28 社会福祉法人役員研修会（畑理事）
相談支援部会（五十嵐・神山）

2月
4 ゼンコロ運営委員会（高橋 5日迄）
6 就労プロジェクト（高橋・利根川）
14 業務連絡会（冨田）
18 東社協BCP研修（遠藤・小俣）
19 立川保健所食品衛生講習（神山）
20 第八小学校運営協議会（高橋）
24 自立支援協議会（高橋）
25 ゼンコロDVD製作委員会（高橋・五十嵐）
26 就労ネット（高橋・利根川）

3月
3 福祉職員職務階層別研修
中堅職員研修（小室・西出・藤澤 4日迄）
6 ゼンコロ理事会・総会（高橋 7日迄）
11 精神授産連絡会（遠藤）
14 業務連絡会（冨田）
27 就労ネット（高橋）

4月
7 ㈱マーレフィルターシステムズ行（高橋・山本）
9 ゼンコロDVD製作委員会（高橋・五十嵐）
11 業務連絡会（遠藤・冨田）
17 ゼンコロ運営委員会（高橋 18日迄）
24 就労プロジェクト（高橋・利根川）
就労ネット（高橋・利根川・西出）

5月
7 ㈱マーレフィルターシステムズ行（高橋・遠藤・山本）
8 ゼンコロDVD製作委員会（高橋・五十嵐）
9 業務連絡会（遠藤・冨田）
15 第八小学校運営協議会（高橋）
16 都社福運営講習（高橋）
19 ISO研修（高橋・山本）
20 神経センターデイケアまつり（赤星・遠藤）
27 相談支援部会（小室・神山）
28 日中活動部会（永井）
29 就労ネット（西出・利根川）

6月
5 ゼンコロ理事会・総会（高橋・五十嵐 6日迄）
11 東社協総会（高橋）
12 ゼンコロDVD製作委員会（高橋・五十嵐）
17 羽村特別支援学校運営連絡協議会（熊谷）
18 ㈱マーレフィルターシステムズ本社（鈴木・高橋・山本）
26 就労プロジェクト（高橋）
就労ネット（西出）

入所・退所

入所
4月 髙野漱太（就労移行）
6月 阿美美貴（印刷部）

退所
2月 竹内静香（まどか）
3月 中村由美子（給食部）
鈴木智大（就労移行）
4月 木下美重子（さくら）
6月 谷口しおり（第一課）
木島穂奈美（さくら）

編集後記

今回の広報誌を読み返してみると災害時対応マニュアルについて触れられている箇所が目立ちます。

大震災への対策がその目的ですが、しかし近年は大雪、ゲリラ豪雨、台風、猛暑、そして感染症など安全対策を講じなければならない事象が多いと感じています。どれも自然に関する現象であり、対策もそれぞれ異なり大変ですが、大切なのは「協力」だと思います。

野球でもサッカーでもチームワークの取れたチームは強いです。あかつきコロニーも強いチームを目指していきます。（T）

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています